

新世柏

中村昌治

●市長マニフェストの達成率
 ●4年前に市民に訴えて市長選挙に出たときの内容は、民間の発想を取り入れ、情報を公開し、長年続いた役所仕事の体質を廃止するなど、具体的なマニフェストに示し、市民と約束して当選した。このマニフェストの評価、達成率は。

●平成23年にマニフェスト中間報告を作成し、進捗状況を公表した。現在細かい評価は行っていないが、残りの任期中に一つでも多くのマニフェストの項目が達成できるよう努力する。

●柏公園入口から大井經由布瀬間の路線の今年度事業計画

●慢性的に渋滞している国道16号線の抜け道として利用されている。さらに未整備区間や急カーブもあることから非常に危険な状態である。路線の拡幅は地元市民の願いであることから、早急に事業を進めていただきたい。この路線の今年度の事業計画及び安全対策としての信号機等の設置について。

●大井妙照寺下の用地取得ができたため、未整備区間を含む約470メートル及び24年度に整備した大井新田地先から道の駅しようなんに向う約250メートルについて工事予定である。用地取得は、柏ふるさと公園地先ほかの未買収地の取得、箕輪新田地先から道の駅しようなんまでの用地を取得予定である。信号機等の安全対策については、現状を踏まえ今後検討する。

●ふるさと協議会補助金の削減
 ●ふるさと協議会への補助金

減額に対する市の方針は。

●補助金制度の定期的な見直しは必須である。23年度に策定した補助金適正化ガイドラインを鑑み、各ふるさと協議会の意見を踏まえて検討し、経過をお知らせしながら見直しを進める。

●風早北部小学校の環境整備

●これ以上遊具、植栽、運動場や遊ぶスペースを減らしてまで仮設のプレハブ校舎を建てることは、教育の場として好ましくない。学区の中央への移転や新たに手賀の杜に小学校を新設などの検討をすべきと考える。

護憲市民会議

末永康文

●柏駅東口再開発

●54億円もの税金投入事業はやめるべきである。

●D街区再開発は新たな都市住居や商業機能等を更新することにより、来訪者の回遊性や防災性の向上などが図れる。

●国交省用地道路

●3月に国交省と協議した。今後、歩道整備部分の面積確定後、用地譲渡して年内に歩道整備を行う予定。

●介護保険

●制度はあるがサービスが受けられないことや現場で矛盾が起きている。
 ●サービスの提供整備は充実



風早北部小学校

●これが懸念されることから、校地を拡張し仮設校舎を建設して対応する。また現在の住民登録をされているゼロ歳児から5歳児までの子供は、4歳児をピークに減少するので、新設校の建設また移転しての新築等ではなく、仮設校舎で対応していく。

●されてきたが、質の面では課題がある。質の向上に努める。

●地域包括の役割と介護予防の情報はどうしているか。

●医療・福祉関係者、民生委員などが会議に参加し、情報の収集や個人情報等を蓄積して迅速に対応できるようにしている。

●待機児童解消

●保育園分園化や公共施設の活用、4、5歳児の幼稚園への奨励金を付けた移行等を行うべき。

●6月中に緊急プランの柱として解消策をまとめ取り組む。

●緊急に待機児童を解消すべきと言っているものでプランを立てると言っているのではない。

●作成後、早急に実施する。

●同じことを3月議会でも言った。やる気のない職員は要らない。かえるべきだ。
 ●御指摘いただいた内容をきちんと踏まえた上でしっかりと

柏愛倶楽部

山下洋輔

●自転車まちづくり政策
 ●職員の通勤手当不正受給がないよう対策を徹底せよ。
 ●適宜チェックしていく。
 ●医療費や環境負荷軽減のため、徒歩・自転車通勤者の通勤手当を優遇することは可能か。

●名古屋などから実施例がある。様々な面から検討する。

●自転車道やナビマークを設置し、自転車環境を整備せよ。

●柏駅前の駐輪対策も含め、自転車総合計画を立てる。

●子育て支援

●一時預り保育や病児病後児保育、緊急預り支援の充実を。

●農家民泊・農業体験

●ついでにしたいと思う。

本池奈美枝

●放射能対策
 ●ホールボディーカウンター検査を受けた方は102名ふえ289名となり今後もふえると思う。追跡調査をすべきである。

●検出者は13名いるが健康に影響はない。助成期間は10月末までと考えている。

●社会福祉法人保育園建設

●社会福祉法人の保育園が、リベートを求める裁判を起こした。法人を許可した本市として、法的、専門的見地から判決の内容等について見解を問う。また現理事全員の辞職を求める。

●建設補助金を出した観点から言えば、裁判等の内容の補完として法人調査等を行ったこと

●エコツーリズムの推進を。地域振興の目玉として、観光計画の中で検討する。
 ●農業体験学習の導入を。
 ●受け入れ農家を調査し、体制づくりを図っていきたい。
 ●シティズンシップ教育
 ●選挙管理委員会と学校が連携し、選挙啓発活動を。
 ●中長期的に取り組んでいく。
 ●学校教育における外部人材の活用



オランダ（アムステルダム）の自転車道

●ティーチ・フォー・ジャパンの取り組みについての見解を。
 ●団体が教員を採用し教員を学校に派遣したければ助かる。
 ●公民学連携のまちづくり
 ●東大フューチャーセンターと市の連携と期待する成果は。
 ●現在、協議を行っている。課題が多様化している中、有効な解決手段になると考える。
 ●柏市民公益活動促進基金

未来会議柏

長瀬慈村

●健康・福祉について
 ●がん対策、自殺対策、医療者不足対策、訪問リハビリ、地域包括ケア、障害者雇用促進法などの現状と今後の方針。

●がん対策の見直しに伴い、生活習慣改善等、子どもへのがん予防教育を実施中、がん患者の就労支援は国・県に合わせ検討。自殺予防にゲートキーパーを養成中、傾聴・見守り・つなぎ役とし活動しやすい環境を整える。看護師不足は重要課題で復職支援を取り組み、仕事環境・待遇改善等、市でできることは積極的に行う。総合特区法で訪問リハビリが認められ、要介護

●子どもへのがん予防教育を実施中、がん患者の就労支援は国・県に合わせ検討。自殺予防にゲートキーパーを養成中、傾聴・見守り・つなぎ役とし活動しやすい環境を整える。看護師不足は重要課題で復職支援を取り組み、仕事環境・待遇改善等、市でできることは積極的に行う。総合特区法で訪問リハビリが認められ、要介護

●学習・交流について

●児童・生徒の判断力と自律性の涵養の具体策、いじめ対策における第三者委員会の必要性、スポーツ推進審議会の方向性についての考え方。

●学校教育では、教え込み反復ドリルの授業から自主的に課題を見つけて調べ解決するスタイルへの変換が望ましく教職員の研修の充実を図る。いじめの難航案件では専門的スーパーアドバイザーチームを検討する。スポーツ推進は委員を強化、健康づくりや障害予防も含める。

●環境共生について

●環境未来都市の進捗状況。
 ●環境共生・健康長寿・新産業創造都市をビジョンに掲げ世界モデルとなるよう取り組み中。



柏の葉環境未来都市のイメージ模型

●現状と修正点について。
 ●利用団体や市民の意見を取り入れ、見直し研究していく。
 ●生物多様性に向けた取り組み
 ●里山ボランティア入門講座は、森だけでなく、人と接する生態系全般を扱い、部署を横断し、企画していくべきでは。
 ●実現に向け、関係部と相互の役割や連携を協議していく。

●者の生活質改善に取り組む。地域包括支援センターは高齢者の健康維持・生活支援等を行う役割で医療者とも連携し充実を図る。障害者就労支援は雇用企業への支援を含め整える。
 ●子育て支援について
 ●産後ケアセンター、病児・病後児保育の現状と方針。
 ●出産後母子支援は訪問支援、療育支援を実施中、ケアセンターは今後調査研究。病後児保育施設は1カ所所利用状況25%、利用しやすさの検討要。

●学習・交流について

●児童・生徒の判断力と自律性の涵養の具体策、いじめ対策における第三者委員会の必要性、スポーツ推進審議会の方向性についての考え方。

●学校教育では、教え込み反復ドリルの授業から自主的に課題を見つけて調べ解決するスタイルへの変換が望ましく教職員の研修の充実を図る。いじめの難航案件では専門的スーパーアドバイザーチームを検討する。スポーツ推進は委員を強化、健康づくりや障害予防も含める。

●環境共生について

●環境未来都市の進捗状況。
 ●環境共生・健康長寿・新産業創造都市をビジョンに掲げ世界モデルとなるよう取り組み中。